

コミュニティ・ビジネス・ワンストップ  
窓口実験事業 事業実施報告書

平成17年3月

特定非営利活動法人

子どもNPOセンター福岡



## 目 次

I. 事業の目的	1
II. 事業概要	3
III. 事業の取組み	10
1. 現状分析	10
2. プロジェクト推進会議の記録	13
3. ワーキンググループ・ミーティングの記録	19
4. 窓口の設置・普及・募集について	24
5. ネットワークの整備について	28
6. 相談窓口について	32
7. コミュニティビジネス講座について	48
8. フォローアップ事業について	51
9. 事業の効果	56
IV. 事業から導かれる課題	60
V. 総まとめ	62



## I. 事業の目的・内容

- 1 目的：この事業は、雇用創出が期待されるコミュニティビジネスについて、行政手続や雇用管理などに関する相談や、地方公共団体による関連支援が着実に普及し、若年者、高齢者、障害者、専業主婦等の社会参加や自己実現の場を拡大していくことを目的とする。
  
2. 内容：この目的を実現するために、行政手続や雇用管理などに関する相談や、地方公共団体による関連支援サービスの情報提供を一体的に行うことの出来る相談窓口を実験的に開設し、コミュニティビジネスの成長促進に向け課題となっている障壁や支援施策の要望についての情報収集、コミュニティビジネスの開業促進及びコミュニティビジネスを通じた雇用創出を図る。
  - 1) コミュニティビジネスの事業者、専門家、行政関係者の協力を得て、資金調達、行政手続、雇用管理などに関する必要な相談や、地方公共団体による関連支援サービスの情報提供を一体的に行うことのできる相談窓口を開設する。
  
  - 2) 相談者からの聴取を通じて、コミュニティビジネスの成長促進に向けて課題となっている規制障壁や支援施策の要望等についての取りまとめ今後のコミュニティビジネスの支援展開の参考にする。
  
  - 3) コミュニティビジネス就業希望者を中心にして就労前の事前講習、コミュニティビジネスやNPO等への研修などを通して、就労に向けてのフォローアップ相談事業も実施する。
  
  - 4) 相談業務で蓄積した相談内容、運營業務のノウハウ、講習実施のノウハウなど、今後活かせるようとりまとめ、コミュニティビジネスの成長促進に向けた提案を行う。
  
3. 現状のコミュニティビジネスにおける課題
  - 1) コミュニティビジネスの展開は福祉分野での展開が多く、その他の地域の多様なニーズへ対応した事業展開が不足している。
  - 2) 人材や機能などをコーディネート出来る中核的人材が不足している。
  - 3) 起業をしようとする際に相談できる窓口機関が少ない。
  - 4) 情報交換やデータ収集などの場が少ない。
  - 5) 行政からの委託事業に関しては制約ある場合がある。

4. コミュニティビジネスの事業展開を拡大させるための方策
  - 1) コミュニティビジネス・ワンストップ窓口の実験的開設
    - ①地域ニーズに関わる情報収集・提供、コーディネート人材の育成、人材のマッチングなど多面的な支援を行う窓口とする。
    - ②地方自治体がコミュニティビジネスに対して、その運営が軌道に乗るまでの期間、遊休公共施設を低額または無償で貸与し、開設費用・運営費用を支援する。
    - ③委託費の使途については弾力性をもたせる。
  - 2) NPO への委託訓練事業が福祉や NPO 起業に関するものが中心なので、幅広い分野でのカリキュラム開発を行う。
  - 3) 多様な主体のコミュニティビジネスへの参加または起業するための方策
    - ① 若年者への方策
    - ② 職業マナー等の基礎的講習の実施
    - ③ 受け入れ先のコミュニティビジネスの情報提供
  - 4) 在職者への方策
    - ①企業へボランティア休暇制度やボランティア情報などの情報を提供して、企業の社会的貢献意欲を増進する。
  - 5) 高齢者への方策
    - ①個々の高齢者の能力などデータを集積し、相談を受けた場合には適切な情報提供とニーズとのマッチングを行えるような仕組みを整える。
  - 6) 障害者への方策
    - ①障害者の NPO 就労の為の相談や情報提供、マッチングの仕組みを整える。
  - 7) 専業主婦への方策
    - ①職業マナー等の基礎的講習の実施
    - ②受け入れ先のコミュニティビジネスの情報提供

## II. 事業概要

### 1. 事業スケジュール

1) 実施期間：平成16年 10月1日～平成17年3月31日

実施項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月
プロジェクト推進会議開催	◎		◎		◎	◎
ワーキンググループミーティング開催	○	○	○	○	○	○
I. コミュニティ・ビジネスの現状分析						
II. ワンストップ窓口実験事業の詳細実施策検討						
III. ワンストップ窓口実験事業の認知及び相談募集						
IV. コミュニティ・ビジネスのネットワーク構築と情報収集・提供						
V. 相談者からの情報収集と要望の取りまとめ						
VI. フォローアップ事業の実施						
VII. コミュニティビジネス講座の実施						
VIII. 報告書作成						

①相談窓口業務は平成16年10月1日から平成17年3月31日まで毎週月曜日から金曜日の10:00～16:00までとする（※祝日は除く）計123日

②コミュニティビジネス起業・就業講座は12月から2月まで6回実施。

※1回につき1日10:00～16:00で実施

### 2) 実施場所

①子どもNPOセンター福岡事務所（福岡市中央区赤坂1-2-7）

②その他（福岡市内に所在する講座実施のための施設等）

## 2. 事業の実施方法

子どもNPOセンター福岡内に「コミュニティビジネス・ワンストップ窓口実験事業」プロジェクトを発足して、その体制を以下のように組み実施。

### 1) プロジェクト推進会議（2ヶ月に1回開催され、目的達成に向けての検討と決定の機能をもつ。）

①専門家、学識経験者、コミュニティビジネス事業者、行政関係者を含めて構成する

②プロジェクト推進委員長（1名）と推進委員（9名）の10名で構成

#### 【推進委員長】

田村 馨 福岡大学商学部 教授

#### 【推進委員】

丹羽 桂之助 福岡県信用組合協会 常務理事

江藤仁章 福岡県中小企業団体中央会情報調査課 課長

赤塚和俊 特定非営利活動法人 NPO 会計税務専門家ネットワーク理事長

加留部貴行 特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会 理事

中川 茂 西日本新聞社論説委員

古川澄子 福岡県社会教育委員

島田達也 福岡県生活労働部労働局新雇用開発課企画開発係長

植木 栄 福岡労働局職業安定部職業安定課企画調整係

大谷順子 特定非営利活動法人 子どもNPOセンター福岡 代表理事

【開催内容】

第1回推進会議

○開催月日：平成16年11月26日

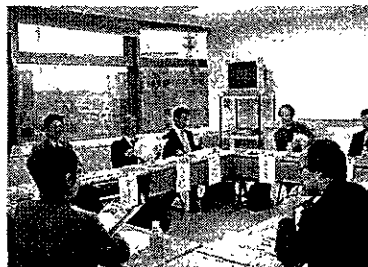
○議 題：

- ① 推進会議の目的確認と事業計画の説明
- ② 事業進捗について
- ③ 現状の課題について

○出席者

【推進委員】 田村馨・丹羽桂之助・江藤仁章・赤塚和俊・中川茂・  
古川澄子・加留部貴行・植木栄・島田達也・大谷順子

【事務局】 長阿彌幹生・肥塚美幸・若林外志夫・野口比佐子・久保博紀



第2回推進会議

○開催月日：平成16年12月24日

○議 題：

- ① 事業進捗について
- ② コミュニティビジネス講座について
- ③ 交流サロンについて

○出席者

【推進委員】 田村馨・丹羽桂之助・江藤仁章・赤塚和俊・中川茂・  
古川澄子・植木栄・島田達也・大谷順子

【事務局】 長阿彌幹生・肥塚美幸・若林外志夫・野口比佐子・久保博紀

第3回推進会議

○開催月日：平成17年1月24日

○議 題：

- ① 事業進捗について
- ② コミュニティビジネス講座について

○出席者

【推進委員】 田村馨・丹羽桂之助・江藤仁章・赤塚和俊・中川茂・  
古川澄子・加留部貴行・島田達也・大谷順子

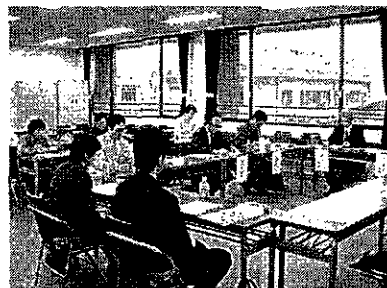
【事務局】 長阿彌幹生・肥塚美幸・若林外志夫・野口比佐子・久保博紀  
中尾康代

第4回推進会議

○開催月日：平成17年3月22日

○議 題：

- ① 事業進捗について
- ② コミュニティビジネス講座の総括
- ③ コミュニティビジネス・ワンストップ窓口実験事業総括





○出席者

【推進委員】 田村馨・丹羽桂之助・江藤仁章・赤塚和俊・中川茂・古川澄子・加留部貴行・島田達也・大谷順子

【事務局】 長阿彌幹生・肥塚美幸・若林外志夫・野口比佐子・久保博紀  
中尾康代

2) ワークキンググループ ミーティング (必要に応じて開催され、推進会議で決定された業務を実際に行うための計画立案及びその実施、記録、報告を担当する。)

- ①事務局責任者 : 長阿彌幹生 (子ども NPO センター福岡 専務理事)
- ②プロジェクト事務局員 : 若林外志夫 (子ども NPO センター福岡 理事)  
肥塚美幸 (子ども NPO センター福岡 理事)  
野口比佐子 (子ども NPO センター福岡 スタッフ)  
久保浩樹 (子ども NPO センター福岡 スタッフ)  
中尾康代 (子ども NPO センター福岡 スタッフ)

【開催内容】

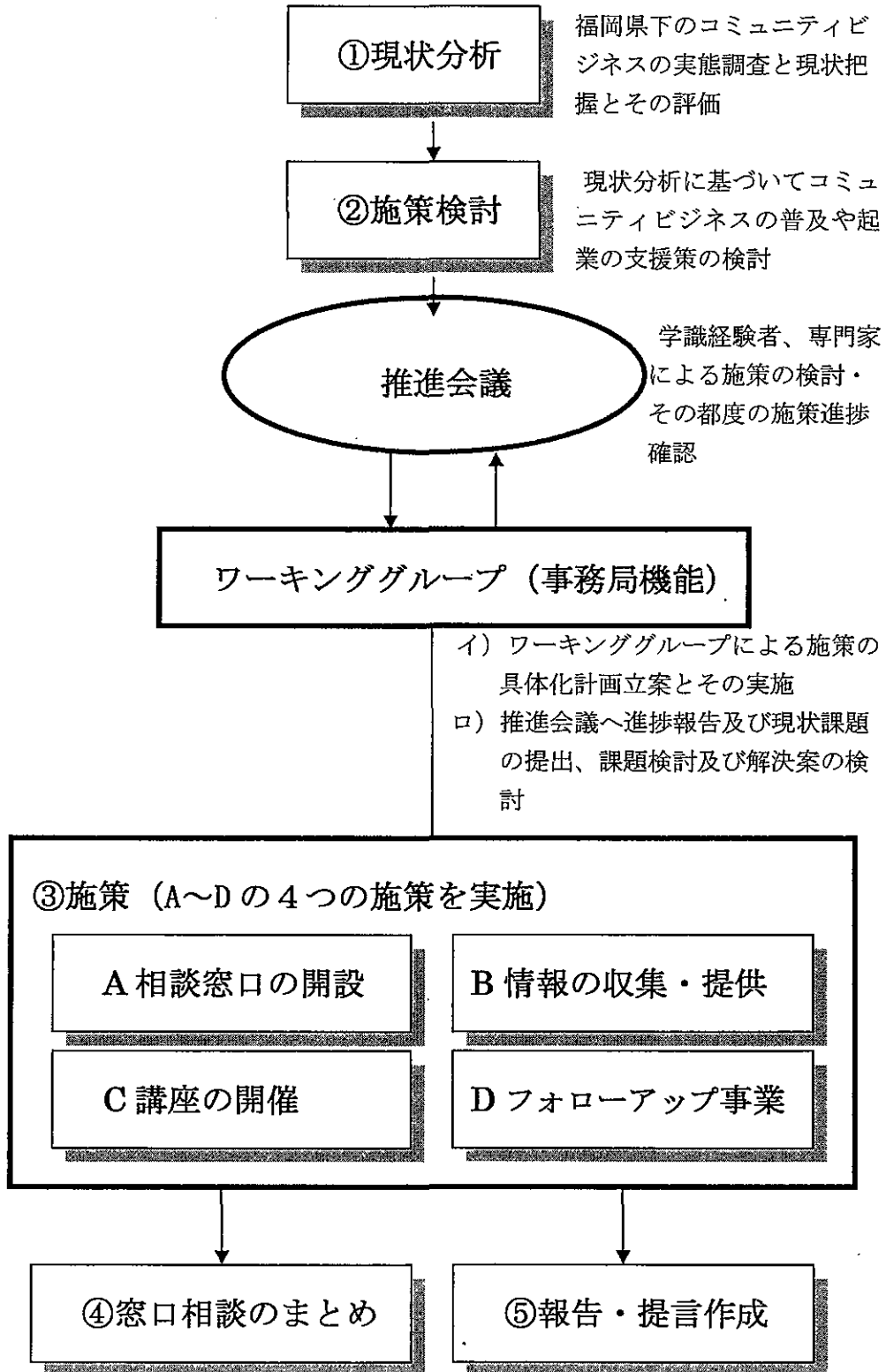
開催月日	出席者	議題
(第1回) 10月2日	長阿彌幹生 肥塚美幸 野口比佐子 久保博紀 中尾康代	1. 事業について 2. 現在までの検討内容の確認 3. 今後の進め方について
(第2回) 10月10日	長阿彌幹生 野口比佐子 久保博紀	1. 経理体制について 2. インターンシップ受け入れ 3. 現状分析について 4. 事業に対する一般の認知及び相談募集について 5. 情報収集と要望の取りまとめ
(第3回) 10月11日	肥塚美幸 野口比佐子 久保博紀 中尾康代	1. 経理体制について 2. インターンシップ受け入れ 3. 現状分析について 4. 事業に対する一般の認知及び相談募集について 5. 情報収集と要望の取りまとめ

(第4回) 10月13日	長阿彌幹生 若林外志夫 久保博紀 大谷順子 宮本智子	1. 現状の問題について 2. ポスター、チラシについて 3. 推進会議開催の準備 4. ホームページの検討
(第5回) 10月27日	長阿彌幹生 肥塚美幸 野口比佐子 久保博紀	1. 講座会場確保について 2. 相談業務について 3. 推進会議準備
(第6回) 11月8日	長阿彌幹生 肥塚美幸 野口比佐子 久保博紀 中尾康代	1. 講座会場の確保 2. インターンシップ受け入れ 3. マスコミプレビューについて 4. 相談受付について 5. 推進会議開催準備
(第7回) 11月15日	長阿彌幹生 肥塚美幸 若林外志夫 野口比佐子 久保博紀 中尾康代	1. 講座会場の確保 2. インターンシップ受け入れ 3. マスコミプレビューについて 4. 相談受付について 5. 推進会議開催準備
(第8回) 11月23日	長阿彌幹生 肥塚美幸 若林外志夫 野口比佐子 久保博紀 中尾康代	1. データ収集について 2. データベースについて 3. 事業のPRについて 4. 相談受付について 5. 推進会議開催準備
(第9回) 11月26日	長阿彌幹生 肥塚美幸 若林外志夫 野口比佐子 久保博紀	1. 推進会議
(第10回) 12月6日	長阿彌幹生 肥塚美幸 若林外志夫 野口比佐子 久保博紀 中尾康代	1. スタッフ学習会 2. コミュニティビジネス講座検討 3. データ収集 4. 相談受付について

開催月日	出席者	議題
(第11回) 12月13日	長阿彌幹生 肥塚美幸 若林外志夫 野口比佐子 久保博紀 中尾康代	1. コミュニティビジネス講座内容 検討 2. データ収集 3. 事業のPRについて 4. 推進会議について
(第12回) 12月21日	長阿彌幹生 肥塚美幸 若林外志夫 野口比佐子 久保博紀 中尾康代	1. 交流サロンについて 2. コミュニティビジネス講座について 3. データ収集 4. PRについて 5. 推進会議の準備
(第13回) 12月24日	長阿彌幹生 肥塚美幸 若林外志夫 野口比佐子 久保博紀	1. 推進会議準備
(第14回) 12月27日	長阿彌幹生 肥塚美幸 若林外志夫 野口比佐子 久保博紀 中尾康代	1. コミュニティビジネス講座 のカリキュラム 2. 講師手配
(第15回) 1月7日	長阿彌幹生 若林外志夫 野口比佐子 久保博紀 中尾康代	1. データベース内容について 2. ホームページについて 3. コミュニティビジネス講座の内容 について 4. 交流サロンについて
(第16回) 1月17日	長阿彌幹生 肥塚美幸 若林外志夫 野口比佐子 久保博紀 中尾康代	1. データベース内容について 2. ホームページについて 3. コミュニティビジネス講座の内容 について
(第17回) 1月24日	長阿彌幹生 肥塚美幸 若林外志夫 野口・久保・中尾	1. 推進会議準備

開催月日	出席者	議題
(第18回) 1月25日	長阿彌幹生 若林外志夫 野口比佐子 久保・中尾	1. データ収集 2. 広報 3. コミュニティビジネス講座の内容について
(第19回) 2月7日	肥塚美幸 若林外志夫 野口・久保・中尾	1. コミュニティビジネス講座開催準備
(第20回) 2月14日	長阿彌幹生 肥塚美幸 若林外志夫 野口・久保・中尾	1. 進捗状況の確認 2. コミュニティビジネス講座の内容について
(第21回) 2月22日	長阿彌幹生 肥塚美幸 若林外志夫 野口・久保・中尾	1. コミュニティビジネス講座の内容について 2. 相談業務について 3. 交流サロンについて
(第22回) 2月28日	長阿彌幹生 肥塚美幸 若林外志夫 野口・久保・中尾	1. コミュニティビジネス講座の内容について
(第23回) 3月7日	長阿彌幹生 肥塚美幸 若林外志夫 野口比佐子 久保博紀	1. コミュニティビジネス講座・入門コースの反省と今後の対応 2. データベースについて 3. 推進会議について 4. 交流サロンについて
(第24回) 3月18日	長阿彌幹生 肥塚・若林 野口・久保・中尾	1. 講座アンケートについて 2. 現在の進行状況
(第25回) 3月22日	長阿彌幹生 肥塚美幸 若林外志夫 野口・久保	1. 推進会議の準備 2. コミュニティビジネス講座終了後の課題検討 3. 進捗確認
(第26回) 3月25日	長阿彌幹生 肥塚美幸 若林・野口・久保	1. 相談業務について 2. 交流サロンについて 3. 報告書作成業務
(第27回) 3月30日	長阿彌幹生 肥塚美幸 若林・野口・久保	1. 相談業務について 2. 報告書作成

3) 事業内容 事業は以下のような①→④・⑤への流れで実施



### Ⅲ. ワンストップ窓口事業の取組み内容

#### 1-1 実施地域の現状分析（情報収集及びその検討）

以下のような目的で地域のコミュニティビジネスに関する情報収集を行い、同時にデータベース化を行い、ワンストップ窓口事業の展開施策の参考とした。また、このデータは相談窓口業務においても活用され、起業や就業先についての参考資料ともなった。

##### 1) 目的

- ①相談窓口における相談業務を充実させるため
- ②福岡県のコミュニティビジネスにおける現在の状況分析、課題・障壁の把握のため
- ③福岡県のコミュニティビジネスに関係する団体のネットワーク構築のため

##### 2) 情報収集とデータベース作成のプロセス

- ①コミュニティビジネス的視点によるNPO法人の情報収集  
10月：福岡県庁の県民情報センターにて福岡県にあるNPO法人のデータを収集。(対象：財政規模500万円以上の団体)
- ②アンケート調査の実施スケジュール  
10月：アンケート案作成  
イ) ワーキンググループ会議にて検討。  
11月：イ) 子どもNPOセンター福岡事務局会議でアンケート内容検討  
ロ) 推進会議委員の助言・指導を求める  
ハ) 他の専門家にアンケートへの助言を求めて検討する。  
※ふくおかNPOセンターの古賀桃子氏  
二) NPO法人以外のコミュニティビジネス事業団体の情報収集  
※福岡市など福岡県庁以外からの情報収集  
ホ) 得られた情報をベースにワーキンググループで施策検討  
ヘ) 検討した施策を推進会議で提案・検討  
12月：アンケート用紙発送及び回収  
イ) 発送先：140団体  
ロ) 回収数：40通  
ハ) コミュニティビジネス団体の訪問し情報収集開始。  
二) 得られた情報をベースにワーキンググループで施策検討  
ヘ) 検討した施策を推進会議で提案・検討

### ③アンケート作成に関する経緯

第1回推進会議でコミュニティビジネス事業団体のうち、特定非営利活動法人（NPO法人）以外の事業団体を識別するのは難しいとの意見からアンケートの対象を特定非営利活動法人（NPO法人）に絞る。

対象：イ）財政規模500万円以上の福岡県内NPO法人（県庁資料より）

ロ）福岡県生活労働部労働局新雇用開発課発行の「まちCOM通信」掲載の団体

ハ）ホームページ「九州コミュニティビジネス情報交流プラザ」内掲載の団体

### ④アンケート調査内容

イ）団体の概要・基礎情報

ロ）団体の活動・事業内容

ハ）団体の規模等（財政・人員・雇用人事）

ニ）コミュニティビジネスに対する関心・意識

ホ）地域との関係

ヘ）ネットワーク形成の意識

ト）団体の課題

チ）コミュニティビジネスに関する自由意見・要望

リ）コミュニティビジネスに関して行政への自由意見・要望

### ⑤行政関係の情報収集先

福岡県生活労働部労働局新雇用開発課

福岡県西警察署生活安全課防犯係長

福岡県中小企業団体中央会情報調査課

福岡県SOHO事業協同組合

九州産業経済局総務企画部企画課

福岡市経済振興局産業政策部

福岡市保健福祉局子育て支援部

福岡市市民局市民生活部生活安全課

福岡市市民局危機対策室防災課

福岡市市民局コミュニティ推進部NPO・ボランティア支援課

福岡市NPO・ボランティア交流センター

福岡市中小企業サポートセンター

福岡SOHOサポートセンター

## ⑥コミュニティビジネス事業団体からの情報収集

主に代表、理事、事務局長などに役職者との面談による情報収集を実施

### 【訪問時の調査内容】

- イ) 事業、活動内容
- ロ) 事業、活動の目的・ミッション
- ハ) 団体設立の経緯
- 二) 収益事業について
- ホ) 協働について（協働の意思・経験、行政との関係）
- ヘ) ネットワークについて
- ト) 事業、団体の今後について
- チ) 行政への要望
- リ) ワンストップ窓口（子どもNPOセンター福岡）への要望
- ヌ) 実施アンケート表に基づいた質問
- ル) 団体に関するチラシやリーフ、資料収集

### 【調査実施団体】

- ・ NPO法人 新聞環境システム研究所
- ・ NPO法人 管崎まちづくり放談会
- ・ NPO法人 地域福祉を支える会 そよかぜ
- ・ NPO法人 ありギリス
- ・ NPO法人 福岡マンション管理組合連合会
- ・ NPO法人 グラウンドワーク福岡
- ・ 企業組合 ワーカーズグループ21
- ・ 企業組合 産直ワーカーズもぐもぐ
- ・ 企業組合 ワーカーズみんと
- ・ 企業組合 オフィス21
- ・ 有限会社 ぶどう畑
- ・ 任意団体 ASAP

## 3) データベース作成のプロセス

アンケートの実施や訪問調査で得られたデータは以下のプロセスでデータベース化され、いつでも利用可能な状態にしてある。データベースの件数がまだ少ないので、これから蓄積していきながら拡充していき、活用していくことが必要である。



- 1月：イ) 収集した情報を元にデータベース内容を検討。
  - ロ) インターネット等を利用した団体情報の収集、入力
  - ハ) 団体訪問にて得た情報をパソコンにエクセルデータとして入力
- 2月：イ) パソコンにデータベース作成用のエクセルデータ入力
  - ロ) データベースソフト作成業務委託先とデータベース作成に関する打ち合わせ
- 3月：イ) データベースソフト作成業務委託先と検討・修正実施
  - ロ) データベース試験運用、システム修正
  - ハ) データベース完成

## 1. - 2. プロジェクト推進会議の開催（議事内容）

コミュニティビジネス・ワンストップ窓口実験事業を始めるにあたって、学識経験者や専門家の意見やアドバイスを取り入れる場としてプロジェクト推進会議を設置した。その結果、方向性の確認や、事業進捗に関する適切な助言を得られ、効果的な事業展開が可能になった。

プロジェクト推進会議委員：プロジェクト推進委員長（1名）と推進委員（9名）の10名で構成

### 【推進委員長】

田村 馨 福岡大学商学部 教授

### 【推進委員】

丹羽 桂之助 福岡県信用組合協会 常務理事  
 江藤仁章 福岡県中小企業団体中央会情報調査課 課長  
 赤塚和俊 特定非営利活動法人 NPO 会計税務専門家ネットワーク理事長  
 加留部貴行 特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会 理事  
 中川 茂 西日本新聞社論説委員  
 古川澄子 福岡県社会教育委員  
 島田達也 福岡県生活労働部労働局新雇用開発課企画開発係長  
 植木 栄 福岡労働局職業安定部職業安定課企画調整係  
 大谷順子 特定非営利活動法人 子どもNPOセンター福岡 代表理事

## 第1回CBプロジェクト推進会議

日時：2004年11月26日（金）14：00～16：00

場所：あいれふ（中央区舞鶴）会議室

出席：

（推進会議委員）※敬称略

田村、加留部、丹羽、江藤、赤塚、中川、古川、島田、植木、大谷、（委員10名）

(事務局)：長阿彌、肥塚、若林、野口、久保 (事務局 5名)

<進行：長阿彌>

1. 挨拶 (大谷)

イ) 事業内容説明

ロ) 子ども NPO センターについての説明。

2. 委員紹介 (長阿彌)

3. 委員長選出 (長阿彌)

・事務局推薦により、田村委員長・加留部副委員長ともに承認



4. 議事 (以下は委員長が議長となり進める)

①推進会議の目的確認と事業計画の説明

・長阿彌より資料をもとに説明、出張費、講座については補足説明あり

②事業進捗について

・長阿彌よりこれまでの経過説明と現在の状況について説明。講座について、  
県新雇用開発課との共同開催、期日の延期等

③現状の課題について

イ) 認知度があがらないこと→現在はハローワークとあすみにチラシを配布しているが・・・

ロ) 問い合わせへの対応方法→相談員が即応できる状況を整えたい

ハ) データベースについて (事務局：久保より説明)

・アンケート項目の検討

・発送先の検討→第一回目は NPO 団体が中心、二回目以降は企業も増やしたいが、効果的な選出や選別の基準等の検討が必要

二) CB 講座について

・実施期間について→変更を検討

・予算の報告→県新雇用開発課との共同開催により予算アップが可能となったので、講師及びカリキュラムの充実を図りたい

④今後のスケジュールについて

第2回 CB プロジェクト推進会議

日時：2004年12月24日 (金) 14:00～16:00

場所：中央市民センター第2会議室 (中央区赤坂)

出席：田村、丹羽、江藤、赤塚、古川、島田、植木、中川、大谷、(委員9名)

(事務局) 長阿彌、肥塚、若林、野口、久保 (5名)

<議長：田村委員長>



## 議事内容

### 1. 報告事項 (長阿彌)

#### ①相談業務

12月23日現在 問合せ件数4件

(内 相談件数2件)

#### ②データ収集 (久保)

イ) アンケート発送 139団体 回答39団体

ロ) 団体訪問 10団体 (若林)

#### ③広報

イ) 専用ホームページ (野口)

11月中旬より WEB 上にアップ、12月上旬に更新 (交流サロンの案内)

ロ) 福岡市のホームページ活用

12月6日125件のアクセス

専用 HP をみて交流サロンに参加した方1名あり

ハ) 『コミュニティビジネス交流サロン開催』のマスコミレビュー

県庁・市役所の記者クラブへ案内文書持参 (12月15日)

→反応: 西日本新聞社

ニ) まち COM 通信 (VOL.7) で紹介

\*福岡県生活労働部労働局新雇用開発課発行

#### ④コミュニティ・ビジネス交流サロン開催

イ) 12月21日 (火) 開催 別紙新聞記事参照

ロ) 参加者14名 (一般3名・行政3名・団体1名・マスコミ1名・事務局6名)

### 2. 検討事項

1) コミュニティビジネス講座について

2) 交流サロンの継続について

3) オブザーバー参加申し入れ

福岡市産業振興局産業政策部雇用創出担当課からの申し入れ有

次回からの参加を了承、以後、官庁関係からの申し入れも可。

### 第3回CBプロジェクト推進会議

日時: 2005年1月24日 (月) 18:30~20:00

場所: 中央市民センター (中央区赤坂)

出席: 田村・加留部・丹羽・江藤・赤塚・中川・古川・島田 (成田)・大谷 (委員9名)

※オブザーバー参加: 山田・古藤 (福岡市産業振興局産業政策部)

長阿彌・若林・久保・肥塚・野口・中尾 (事務局6名)